

# 建設産業・インフラ再生に注力

## 足立としゆき君を励ます会



参議院議員「足立としゆき君を励ます会」が18日、東京・千代田区のホテルグランドパレスで開かれ、自民党幹部や建設業界から足立議員の支持者など約850人が、会

場に詰めかけた。

開会に当たり、「足立としゆきを後援する会」の会長を務める陣内孝雄

元参議院議員は、足立議員の初当選から3年にわたる活動に触れ、「国土強靱化のため、それを支える建設産業の再生のために一所懸命に努力している」と評価し、引き続き足立議員への支援をお願いした。

足立議員が所属する宏池会からは、会長の岸田文雄自民党政務調査会長

が挨拶。今後編成される

補正予算や来年度当初予算などに取り組み中で、

言う時には「厳しく鋭く政府に対して発言する足立先生に是非、予算編成の議論においてもご期待を頂きたい。私たちは足立先生を高く評価している」と述べた。

参議院自民党幹事長の世耕弘成参議院議員は、最近の大規模災害からの復旧・復興などのために大型補正予算を編成する必要性を指摘。補正予算は「10

兆円ぐらい行くべきだ」と主張し、国土強靱化の観点から補正予算の中身を組み立てていく上で足立議員の活躍が期待されると指摘した。

このほか宏池会の古賀誠名誉会長、脇雅史元参議院議員、宏池会座長の林芳正参議院議員、佐藤信秋参議院議員が挨拶した。

建設業界側からは、日本建設業連合会の山内隆司会長が代表して挨拶。国会等で足立議員が主張しているとおり、「短期、中期、長期の視点から、今後の国土強靱化に資する大規模な公共事業予算の確保が待たれる」と述べ、足立議員の豊富な知

識と卓越した手腕に期待を示した。

こうした声を受けて、足立議員が挨拶。活動の柱の1つ、「建設産業の再生」を加え、今後は海外と比べる水準が低く老朽化も進む「インフラの再生」にも注力していく考えを示し、「日本のインフラを海外と比べても、恥ずかしくない領域にしていきたい」と表明。きょう20日開催の参議院災害対策特別委員会で質問に立ち、「建設産業の再生とインフラの再生」をしっかりと主張する考えを示した。

その後、全国建設業協会の近藤晴貞会長の乾杯の発声で祝宴に移った。